

第2回 鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会

【議事概要】

日 時：平成30年7月31日（火） 15：00－16：30

場 所：鎌倉市役所 第3分庁舎1階 講堂

議事要旨

1. 最近の動きについて

- ・ICT・AIなどの革新的技術を活用した、交通需要調整のための料金施策を含めた面的な観光渋滞対策の導入を推進することが「未来投資戦略2018（平成30年6月15日閣議決定）」等に位置付けられたことについて報告された。

2. 鎌倉地域の交通状況について

- ・鎌倉地域における可搬型ETC2.0路側機やAIカメラの設置状況と、これにより得られたデータ等に基づく詳細な流動の分析結果が示された。
- ・分析結果については、渋滞や交通安全、救急搬送、消防、公共交通機関の観点からの市民の生活への影響を示すことができているとの意見があった。
- ・北鎌倉から流入する車両の休日のETC車載器の搭載率が約7割であったことが報告された。

3. 新たなICT・AI技術の活用について

- ・新たなICT・AI技術の活用に向け実施した技術公募の結果が報告された。
- ・今後、技術の提案者と実証実験の具体内容について調整し、整った技術から現地での実証実験を実施することとなった。

4. 光ビーコンを活用した交通流分析例について

- ・神奈川県警より、光ビーコンを活用した交通流分析例について報告があり、今後も市、県や国の取組に対し引き続き協力していきたいとの発言があった。

5. 鎌倉市の今後の取り組みについて

- ・鎌倉市から、今後、ロードプライシングの認知と理解に向け、シンポジウムなどの取り組みを進める方針であることが報告された。
- ・分析により示された市民の生活への影響等を認知と理解に向けた取り組みに活用すべきとの指摘があった。

以上